

2020
秋号
No.224号

職員撮影 風景／海の中道海浜公園

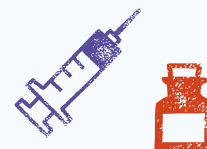
今号の内容

- 治験について
- 頸部内頸動脈狭窄症
- 当院における 新型コロナウイルス感染対策 について
- 広島市国泰寺地域包括支援センター移転のご案内
- 日臨技学術奨励賞 特別奨励賞受賞
- 学術活動 7月～9月

☎ 当院ではWiFi 無料インターネット接続サービスがご利用いただけます。ご希望の方は受付までお問い合わせください。



治験について



脳神経内科部長 今村栄次

時に外来で脳卒中後遺症のある患者さんから「治験はやってないですか？」などと質問を受けることがあります。医療は日進月歩ですが、まだ十分とは言えないところが多く、常により有効な治療法を求めて研究が進んでいます。最近では新型コロナウイルス感染症（COVID-19）についてワクチンや治療薬などのニュースも連日流れています。

治験は、くすりの候補を用いて国の承認を得るために人において行われる臨床試験で、大きく3段階、すなわち第1相試験から第3相試験に分かれます。第1相試験は、人に対して初めて投与が行われるもので、元気な成人男性が対象となることが多いです。まず、薬の安全性について調査を行います。少量の薬から開始し、量を増やしたり繰り返し投与したりして、薬の体内への吸収、分布、代謝、排泄などについて調べていき、薬効、安全性、副作用について評価します。続いて第2相試験は少数例の患者さんを対象にして行われます。どれぐらいの量をどのようなタイミングで投与するのが効果、安全性の面から妥当か見極めていく段階です。最後に第3相試験で多くの患者さん（ただし厳格に基準が決められており、対象外となる患者さんも多いです）に投与を行い、有効性や安全性を確認します。薬を投与しない時と比較して治療効果があるか、既存の標準治療薬と比較して効果があるかあるいは効果は同等でも副作用が少ないなどが認められれば、発売できるようになります。

COVID-19治療薬として何種類かの既存薬で治験が行われていますが、期待されたほどの効果がなく、治療によりむしろ致死率の高くなった薬もありました。なかなか予想通りにいかないことも多いものです。

当院でも患者さんのご協力を得て、脳卒中や認知症の分野で治験（第3相試験）に参加してきており、現在実施中のものもあります。期待通りの結果が得られない場合もありますが、今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

頸部内頸動脈狭窄症

脳神経外科 渡辺俊樹

・頸部内頸動脈狭窄症とは？

動脈硬化によって首の血管が細くなることを言います。脳梗塞を起こす原因の一つであり、発症すると手足が麻痺したり、言語を操る能力をはじめとした高度な脳の働きが障害されたりします。他の脳梗塞の原因と違って、薬剤だけでなく外科的な方法で細くなった血管を広げることで脳梗塞を予防的に治療できることが特徴です。



・頸部内頸動脈狭窄症の原因は？

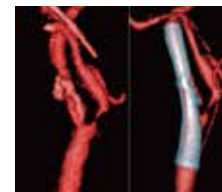
内頸動脈とは頸部から頭蓋内に向かって走行する代表的な動脈の一つです。動脈硬化により頸部内頸動脈の起始部で内膜にコレステロールが蓄積していくことでプラークが形成され内径が狭窄していきます。食生活の欧米化によって近年患者さんが増加しているといわれています。

・頸部内頸動脈狭窄症の症状は？

内頸動脈に血栓が形成されたり脳血流が低下したりすることで、脳梗塞や一過性脳虚血発作（麻痺などの症状が一過性に生じる脳梗塞の前兆ともいわれる病態）が生じる可能性が高くなります。中等度以上の狭窄では年間3-5%で発症するといわれています。症状は障害された部位によって様々ですが、多くの場合片側の手足や顔面の麻痺を生じます。

・頸部内頸動脈狭窄症の治療は？

脳梗塞や一過性脳虚血発作を発症していない場合でも予防のため血栓や脂質異常症に対する内服薬を始めることが勧められます。内頸動脈が高度に狭窄している場合は発症のリスクが高いため手術が勧められます。脳梗塞や一過性脳虚血発作を発症した場合も新たに再発する可能性が高まるため手術が勧められます。手術方法は2種類あります。一つ目は頸動脈内膜剥離術（CEA）といって、頸部の皮膚を10cm程度切開して内頸動脈をむき出しにし、動脈を切開してプラークを直接摘出する手術です。もう一つは頸動脈ステント留置術（CAS）といって足の付け根からカテーテルを動脈内に挿入し、ステントという円筒状の金属をカテーテルに通してプラークの位置まで運び、ステントを展開してプラークごと血管を内側から押し広げて裏打ちする血管内治療です。治療成績は合併症などの条件に左右されますが概ね大きな差がなく、患者さんの状態を総合的に判断して相談したうえで方法を選択します。



当院ではCEA、CASともに行っています。気になる症状のある方はぜひご相談ください。

参考：脳卒中ガイドライン2015

当院における 新型コロナウイルス感染対策 について

感染対策委員長 脳神経内科医長 松島勇人

新型コロナウイルスの全国的な流行により、広島県でも新規感染者が連日報告されています。当院におきましても、感染対策を徹底するとともに面会制限も必要と考え実施させていただいています。これまで当院で行ってきた感染対策の一部をご紹介します。

外来では全員の検温を行うとともに、問診表による発熱者のスクリーニングを行っています。また受付には、ビニールカーテンの設置を行うなどの対策も講じています。院内の職員に対しては、マスク、フェイスシールドの装着、手指消毒の徹底や三密を避けるための業務改善を行い、入院患者さんの感染リスクを下げる努力を継続しています。

診療に関しては、入院時には発熱や呼吸器症状に関わらず全例胸部CT撮影を行い、飛沫が散るような検査や処置は必要最低限に控えています。疑わしい発熱患者さんが出た場合は、PCR検査の実施と結果が確認されるまでの隔離の徹底を現在も継続しています。

幸いこれまで当院からは感染者を出すことなく診療を継続できております。

特に入院患者さん、ご家族におきましてはご不便をおかけしていますが、継続的に医療を提供していくにあたり必要な対策であり、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

《令和2年 新型コロナウイルス対策》

[日 付] [内 容]

2020/

- 3/2 ▶ 外来制限（症状のない患者さんは、5月以降の診察へ）
- 3/4 ▶ 西玄関からの訪問者も体温測定（外部業者に通達）
- 3/7 ▶ 診療にあたり医師・看護師はマスクを装着
- 3/11 ▶ 職員へサージカルマスクを着けて対応推奨
- 3/15 ▶ 病棟での患者さん対応フローチャート作成
- 3/17 ▶ 疑い患者さん対応フローチャート作成
- 3/24 ▶ 西玄関で業者の方への体温測定開始
- 4/初旬 ▶ 非接触型体温計購入
- 4/3 ▶ ご家族以外の面会禁止
- 4/4 ▶ 西玄関に手指消毒剤設置
- 4/9 ▶ 毎週木曜日13:00～感染対策委員会開催
～マスク・防護具定数把握・アルコール消毒剤定数把握～
- 4/15 ▶ 正面玄関で看護師が防護具着用し体温測定
～面会謝絶～
- 4/23 ▶ 意識障害や脳卒中症例患者さんに頭部CTと胸部CTを同時に施行
- 4/28 ▶ 西玄関にスタンド式手指消毒剤設置し 院長が職員に指導
- 4/29 ▶ 受付にビニールカーテン設置
- 4/30 ▶ 看護部COVID19対策マニュアル
- 7/1 ▶ 面会一部解除・正面玄関の看護師退去
- 7/18 ▶ 面会謝絶～



広島市国泰寺地域包括支援センター移転のご案内

広島市国泰寺地域包括支援センターは、令和2年7月15日より、翠清会のゆかりの地、昭和町に移転いたしました。

新センターにおきましては、2階を事務所と相談室、3階を会議室と相談室と、スペースも広くなりゆとりをもってご来訪に対応できるものとなりました。

これを機に新たな環境で、センター職員一同さらなる努力を重ねてまいりますので、今後とも変わらぬご支援・ご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住み慣れた地域で、安心した生活が続けられるよう、保健・福祉などさまざまな面から、地域での生活を支える相談機関です。



【新住所】

〒730-0046

広島市中区昭和町12-2

TEL : 082-249-0600

FAX : 082-544-1456

※TEL / FAX番号に変更はありません。

日臨技学術奨励賞 特別奨励賞受賞 臨床検査部 西野真佐美

学術活動 7月～9月

8/31-9/2 第61回日本神経学会学術大会
初発ラクナ梗塞患者における頭部MRI所見と認知機能の検討
放射線部 井口拓海

European Neurology 83巻1号49～55頁
Prediction of independent gait in acute stroke patients with hemiplegia using the Ability for Basic Movement Scale II score
リハビリ部 上床裕之

当院在籍中に執筆し、今年採択された論文

PLoS ONE, 15(8)

Tongue thickness measured by ultrasonography is associated with tongue pressure in the Japanese elderly
脳神経内科 中森正博

Scientific Reports

Lobar microbleeds are associated with cognitive impairment in patients with lacunar infarction
脳神経内科医長 中森正博

Brain Behavior

Patient Health Questionnaire-9 predicts the functional outcome of stroke patients in convalescent rehabilitation ward
脳神経内科医長 中森正博

PLoS ONE

Simplified cough test can predict the risk for pneumonia in patients with acute stroke
脳神経内科医長 中森正博

Interdisciplinary Neurosurgery

Infant critical head injury could be a remote cause of middle-aged cerebral amyloid angiopathy
脳神経内科医長 立山佳祐

Internal medicine

Low dose contrast-induced encephalopathy during diagnostic cerebral angiography
脳神経内科医長 上村鉄兵

■医療法人■ 翠清会 翠清会梶川病院

TEL : 082-249-6411 FAX : 082-244-7190

〒730-0053 広島市中区東千田町1丁目1-23

<http://www.suiseikai.jp>

《病院理念》

Patient First 「患者さん第一」

ファースト・オピニオン(First Opinion)を提示でき、セカンド・オピニオン(Second Opinion)を求められる病院に！

《基本方針》

- 1 脳の専門病院として24時間、常に質の高い医療を提供します。
- 2 患者さんの権利を尊重します。
- 3 患者さんの安全と安心を確保し、医療事故の予防と対策に努めます。
- 4 急性期から慢性期、在宅までの地域の関連機関と連携を強化します。
- 5 翠清会の職員である誇りを持ち、プロとしての実力を高め、チーム医療に貢献します。



編集委員：今村・山崎・松岡・福田・清水・遠藤・木村・藤本・荒川